

シ李鴻章ヲ直隸總督トス是時ニ當リ日本ト修交シ日本ノ領事來リテ通交ノ事務ヲ統フ幾モナクシテ臺灣ノ事アリ初メ日本ノ備中ノ人及ヒ琉球ノ民臺灣ニ漂流シ生蕃ノ殺ス所トナル日本生蕃ノ地ヲ以テ清廷ノ領地ニ非ストナシ遂ニ問罪ノ師ヲ起ス陸軍中將西鄉從道蕃地事務總督トナリ兵艦五隻ヲ率キテ臺灣ニ至リ蕃人ヲ擊破シ牡丹社會ヲ斬戮ス生蕃十八社ノ會長相續キテ降附ス從道遂ニ龜山ニ營シテ專ラ勦撫ヲ務ム清廷生蕃ノ地ヲ以テ其所屬トナシ日本ニ向ヒテ兵ヲ撤センコトヲ求ム日本聽カス會日本ノ兵臺灣ノ西部ヲ襲ハントスルノ訛言アリ總理船政大臣沈葆楨ヲ遣ハシ福建ノ舟師ヲ率キテ臺灣ニ赴キ其形狀ヲ視察ス既ニシテ日本參議兼內務卿大久保利通ヲ全權辦理大臣トナシ來リテ臺灣ノ事ヲ議ス利通上海ニ航シ遂ニ北京ニ入ル攝政恭親王等利通ニ會シテ生蕃ノ所屬ヲ論ス稽遲スルコト數日議猶決セス利通事ノ整ハサルヲ見テ

憤然トシテ去ラントス會英國公使「ウエード」兩國ノ間ニ入りテ調停ヲ謀リ清國ハ討臺ノ舉ヲ是認シ撫恤銀十萬兩ト軍費銀四十萬兩ヲ償フコトヲ許シ日本モ亦師ヲ臺灣ヨリ班スコトヲ許シ和議全ク成ル利通遂ニ臺灣ニ至リ撤兵ノ令ヲ傳ヘテ凱旋ス既ニシテ清廷李鴻章ノ建議ニヨリテ公使ヲ日本及ヒ西洋各國ニ遣ハス既ニシテ帝崩シ嗣ナシ醇親王ノ子載滌位ニ即ク

今上帝初メ髮賊ノ亂ニ際シテ回教徒西域ニ亂ヲ起シ諸城ヲ下ス教罕ノ會長モ亦其機ニ乘シ張格爾ノ子「アズルク」ニ兵ヲ授ケ「ヤクブベク」ヲ將トシテ喀什噶爾ニ入ラシム後「ヤクブベク」自立シテ國政ヲ整理シ回教徒ト戰ヒテ諸城ヲ下シ新疆ノ大半ヲ領ス此ノ騷亂ニ際シ露人ハ西比利亞ヨリ兵ヲ出シテ「キルギース」人ヲ制馭シ遂ニ進ミテ伊犁ノ地方ヲ占領セリ清廷既ニ髮賊ノ亂ヲ平ケ左宗棠ヲ以テ陝甘ノ總督トナシ新疆

ノ回復ヲ謀レリ宗棠兵器ヲ整ヘ軍紀ヲ明ニシ連年兵ヲ用キテ天山北路ノ各城ヲ復ス然レトモ伊犁ハ猶露國ノ占領ニ歸シ吐魯蕃以西ハ「ヤクペブク」ニ屬ス清兵進ミテ喀什噶爾ニ向フ時ニ「ヤクブベク」ノ勢既ニ衰ヘ部下叛者多ク清兵ニ抗スル能ハサルヲ知リ藥ヲ飲ミテ死ス是ニ於テ喀什噶爾ノ兵皆散シ諸城悉ク降り天山南路モ亦清兵ノ復スル所トナレリ清廷遂ニ伊犁ヲ回復セント欲シ其返還ヲ露國ニ求ム露國答ヘテ曰ク若シ清國ニシテ境上ノ安全ヲ保護シ且其多年伊犁ヲ治メタル費用ヲ償ハ、其要求ニ應スヘシト依テ清廷ハ崇厚ヲ全權大使トナシテ露國ニ遣ハシ其條約ヲ定メントス崇厚聖彼德堡ニ至リ露國ノ委員ト商議シ遂ニ「リワヂヤ」ノ地ニ於テ假條約十八箇條ヲ結フ中ニ清國ヨリ銀五百萬「ルーブル」ヲ償ヒ且「テクス」河ノ上流ナル西岸ノ土地ヲ露國ニ讓與スルノ條アリ崇厚ノ復命スルニ及ヒ其土地ヲ讓與スルニ就キテ物論大ニ

起リ崇厚ヲ以テ權限ヲ越ヘ條約ヲ結ヒタル者トシ牢獄ニ下シ遂ニ其條約ノ廢棄ヲ望ム是ニ於テ兩國各兵ヲ境上ニ出シテ開戦ノ準備ヲナシ左宗棠ハ哈密ニ在リテ清兵ヲ統制シ陸軍大將「コーフマン」ハ露兵ヲ指揮シテ新疆ノ境上ニ軍ス而シテ清廷ハ更ニ曾紀澤ヲ以テ全權大使トナシ聖彼德堡ニ至リテ再度ノ談判ヲ開カシメ數回商議ノ後兩國各一步ヲ讓リ「ホルゴース」河以西ノ地ヲ以テ「テクス」河岸ノ地ノ代トナシ且五百萬「ルーブル」ノ償金ヲ改メテ九百萬「ルーブル」トナシ條約二十條ヲ定メテ平和ノ局ヲ結ヒ兩國ノ兵モ亦境上ヨリ退クニ至レリ

支那略史 終

明治廿八年六月十三日印刷
明治廿八年六月十六日發行

正價金七拾五錢

著者 小川 夔 三

岡山縣岡山市大字石關町七十番邸

發行者 渡邊 千代 治

東京市京橋區築地二丁目二十番地

印刷者 野村 宗 十 郎

岡山縣岡山市大字石關町七十番邸

發行元 渡邊 千代 治

東京市京橋區築地二丁目十七番地

印刷所 株式會社 東京築地活版製造所



賣 捌 所	
東京市本郷區湯島切通坂町	南 江 堂
同 同 春木町二丁目	半 田 屋
同 同 龍岡町	田 中 吐 鳳 堂
同 日本橋區馬喰町二丁目	島 村 利 助
同 本郷區湯島切通坂町	金 原 寅 作
同 日本橋區通三丁目	九 善 株 式 會 社 書 店
名古屋市京町	野 崎 覺 次 郎
京都市寺町通二條上ル	若 林 茂 一 郎
大坂市東區心齋橋筋一丁目	松 村 九 兵 衛
同 北久寶寺町四丁目	丸 善 株 式 會 社 書 店
高知市種崎町	澤 本 駒 吉
山口市山口町	小 原 松 千 代
熊本市新町二丁目	長 崎 次 郎
長崎市引地町	安 中 朋 太 郎
福岡市博多仲島町	積 善 館 支 店
廣島市西横町	松 村 善 助
金澤市尾張町	雲 根 堂

神戸要次郎先生譯

ガウス五桁ノ對數表及三角函數表說明 全

正價 拾八錢
郵稅 四錢

對數ノ表種々アリト雖凡方今數學界ニ於テ一般ニ賞用セラル者ハガウス五桁ノ對數表及三角函數表ヲ以テ最トス同譯表ノ世ニ行ハルヤ已ニ久シテ其說明書ノ如キハ未ダ發刊アルヲ聞カズ豈一ノ欲点ニ非ズヤ弊舖爰ニ感アリ神戸先生ニ請ヒ千八百九十三年發兌同表三十九版說明ヲ譯シ之ヲ世ニ公ニス乞フ數學ニ志スノ諸士一本ヲ購ヒ以テ同表用法ノ至便ナルヲ知リ玉ヘ

獨逸ウイッツスタイン著 日本神戸要次郎譯

初等數學教科書

全 四 卷

第壹卷 算術代數

正價 六拾五錢
郵稅 六錢

第貳卷 平面幾何

正價 六拾五錢
郵稅 六錢

第參卷 平面三角

正價 六拾五錢
郵稅 六錢

第肆卷 獨逸ノ數學

正價 六拾五錢
郵稅 六錢

初等數學ノ書世ニ流布スル者汗牛充棟然レドモ未ダ獨逸ノ數學ニシテ最モ良書完全ナル獨逸數學ノ譯書アルヲ聞カザルナリ夫レ本書ハ獨逸數學書ノ中ニ就キ最モ良書近來殊ニ數學者ノ賞讃スル所トナル蓋シ故アルナリ本書ハ獨逸數學書ノ中ニ就キ最モ良書ノ間ニ高キプロフェツタルドクトル、テオトル、ウイッツスタイン、氏著ス所ノ一エレメンタル、マテマチツク、ヲ譯シタル者ニシテ中等教育ノ教科用ニ恰適スルハ勿論苟モ數學ニ志スノ諸士ニシテ熟讀之レヲ玩味シ賜ハ、其得ル所ノ多キ深ク弊舖ノ信ズル所ナリ

獨逸讀本 第一

正價金四十錢 郵稅四錢

獨逸讀本 第二

五月上旬出版發賣ス

第三高等學校醫學部助教授片平周三郎校閱

渡邊宗三郎插譯

獨逸第一獨案内

前編(綴字編)既成 正價金十八錢 郵稅貳錢

獨逸語學ノ我國ニ必要ナル何ゾ能ク辨テ要セシヤ故テ以テ近來獨逸語ヲ學ブ者或ハ學バント欲スル者日ニ月ニ其ノ數ヲ増スニ至リタルモ之レヲ教ユルノ人ニ乏シクシテ空シク其ノ宿志ヲ達シ得サル者比々皆然リ斯道ノ爲メ豈ニ悲マサルヲ得ンヤ本書ハ此ノ獨逸語學校教員諸氏ガ初學者ノ爲メニ其ノ真教科書ナキヲ患ヒ以テ編纂セラルタル獨逸讀本ノ獨案内ニシテ專ラ初學者ノ獨習ニ便利ナク圖リ原文ノ儘ニ一々記載シ其傍ラニ發音及譯讀ヲ記入シ加フルニ數字ヲ以テ譯讀ノ順序ヲ示シタラシメ容易ニ理解スルヲ得ル其書ニシテ獨逸學獨習者ニ有益無二ノ一好書ト云フヘシ殊ニ本書ハ第三高等學校醫學部助教授片平周三郎先生ノ校訂ヲ受ケ更ニ同部教授醫學士高橋金一郎先生ノ一閱ヲ經シ者ナレバ數音ノ假名ト譯語ノ誤トナキコトハ弊館ノ深ク信シテ疑ハザル所ナリ請フ四方諸君弊館ノ徵求ヲ察シ購求ノ榮ヲ賜ハリ平素ノ宿志ヲ遂ゲ賜ハラバ幸甚

第三高等學校醫學部助教授片平周三郎校閱

渡邊宗三郎插譯

獨逸第一獨案内

後篇 紙數貳百頁餘舶來洋紙上等 五月上旬愈出版發賣ス

石井庫一編纂

中等算數學

全二冊 上等洋紙 總字一〇一五

從來行はる算術書は多くは英に偏し佛に偏し其能く所を得たるもの少し思ふに英は應用に長し佛は理論に長ぜり於是乎編者は英佛の有名なる諸書を折衷し加ふるに卓抜なる新説を以てし理論應用兩方から完備せしめたる算術書と同一視するに値する諸學校の教科書には最も適當の良書と信す願くは斯學に志ある諸君は世に有觸れたる算術書と同一視するに値する諸學校の教科書には最も適當の良書と信す願くは斯學に志ある諸君は世に有觸れたる算

醫學士 高橋金一郎著

獨逸文典

詞論既成

イロハ分ケ及ビabc分ケ單語索引并ニ獨逸熟語集ハ「文章論」ト同時ニ文典ノ附録トシテ出版スベシ 上半定價金五十錢 郵稅四錢 下半定價金五十錢 郵稅四錢

醫學士 高橋金一郎著

獨逸文典 文章論

嗣出

醫學士 高橋金一郎譯

チームセン醫則

正價金卅錢

醫學士 高橋金一郎譯

エスマルヒ 外科手術書精華

花房省吾著

胸腹診候描寫圖

壹冊正價 金拾貳錢 郵稅 貳錢
(前面後面各二十葉宛一冊二十人分ニシテ)

三回ニ出版、挿圖數五百乃至六百箇卷一(切斷術及ヒ離
斷術ノ部)既成假銀金五十錢
卷二(切除術ノ部)近出

醫士諸君ノ病床ニ臨マシ又ハ醫學生諸君ノ臨床講義ニ侍セラルルニ當リ其所見ノ病理的變化ヲ精細ニ筆述シ且之ヲ模
形圖上ニ描寫シテ保存セラルルハ實ニ一日モ缺ク可ラザル緊要ノ事ナリト信ズ

關西中學校教科用

董玄宰秣陵帖

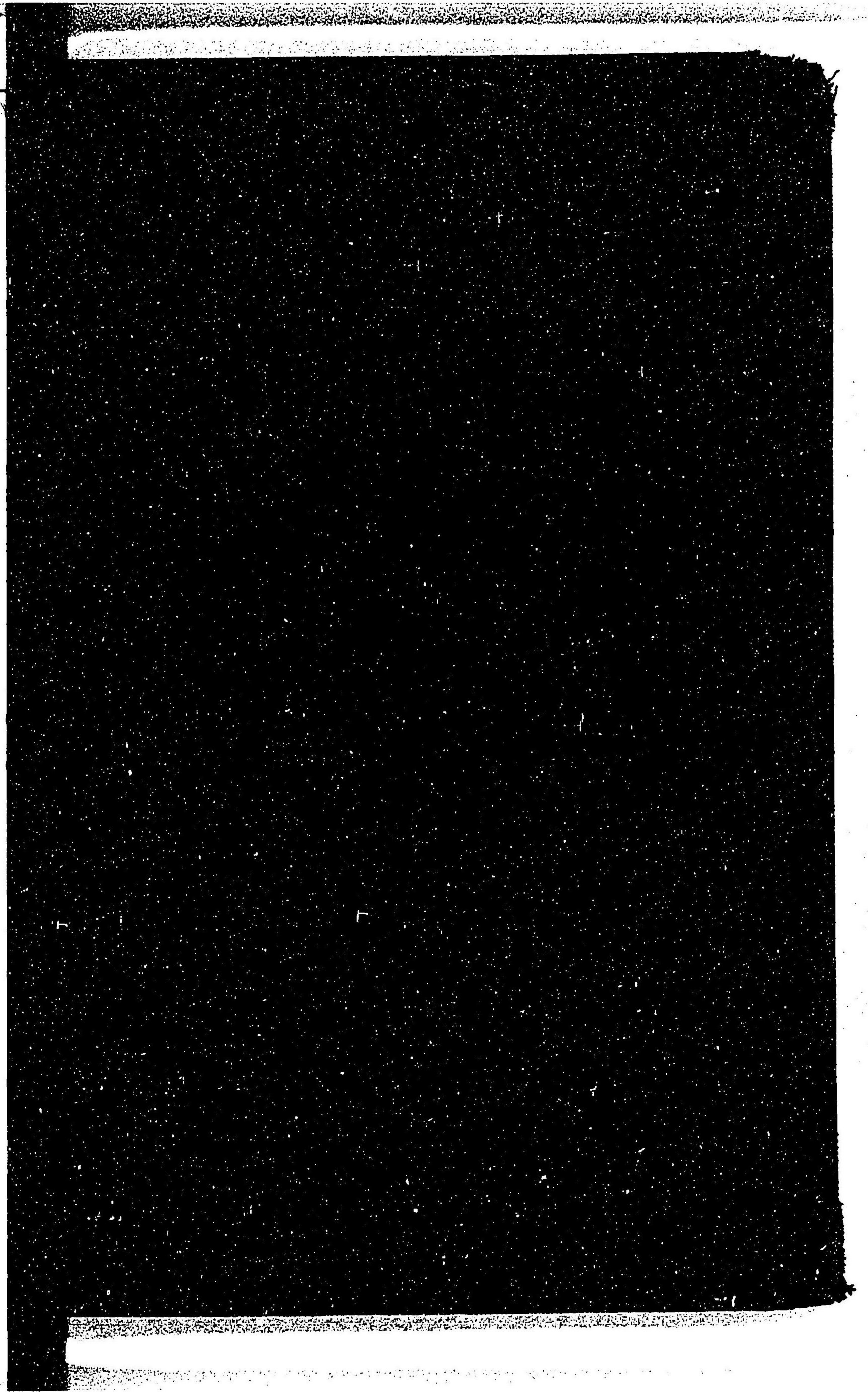
壹冊正價
金拾三錢

處方投藥錄

紙質上等印刷鮮明製本堅固和裝百枚綴拾參錢
五厘●百五十枚綴拾八錢五厘●二百枚綴廿參錢
參拾參錢五厘
但處方錄ハ百枚綴ニテ二百人分
投藥錄ハ百枚綴ニテ四百人分
藥局必要附屬付

處方錄ノ體裁ニ二層ノ改良ヲ加ヘ更ニ轉載番號及ヒ備考ノ二欄ヲ増シ益々有益ナル最良簿トナレリ

72
237



003115-000-6

72-237

支那略史 第1編

小川夔三／著

M28

ACC-1144



